

会 議 録

名 称	令和2年度第2回坂戸市立小・中学校学区審議会
開催日時	令和2年10月7日(水) 15時00分 開会・ 16時10分 閉会
開催場所	坂戸、鶴ヶ島下水道組合 2階 A・B会議室
出席委員氏名	吉永 美晴、光地 英隆、石井 征子、栗原 初夫、星 光男、大川 泰弘、奥隅一之、大川 和彦、菅野 治恵、鹿ノ戸 久美子、山崎 英隆 11名
欠席委員氏名	村田 優紀、藤野 真人 2名
傍聴者	1名
事務局職員職・氏名	教育長 安齊 敏雄、教育部長 清水 満夫、谷口 義明 次長兼社会教育課長 岡田 全弘、学校教育課長 小峰 大吾、同副課長 新井 藤子、同係長 関口 彰、同主任 梅沢 由梨、野澤 篤
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 坂戸市立城山小・中学校の通学区域について 4 その他 5 閉 会
配付資料	1 次 第 2 坂戸市立小・中学校学区審議会委員名簿 3 資料1 坂戸市立城山小・中学校の通学区域について 4 城山学園学校要覧 5 平成30年度研究論文(これが小中一貫教育校「城山学園」)
会 議 の 内 容	
発 言 者	発 言 内 容
教育長 会 長 校 長 事務局 委 員	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 菅野会長</p> <p>3 議事</p> <p>議事に先立ち、城山小・中学校の荻野校長から、城山学園学校要覧及び平成30年度研究論文(これが小中一貫教育校「城山学園」)に基づき、現状の城山小・中学校について説明。</p> <p>(1) 坂戸市立城山小・中学校の通学区域について</p> <p>資料に基づき、説明(学校教育課)</p> <p>【審議内容】</p> <p>坂戸市立城山小・中学校の通学区域について議論し、次の結果に至る。</p> <p>(意 見)</p> <p>・特認校制を初めて知った。興味がある。</p>

委員	・送迎する際の西大家駅周辺道路が狭い。交通事情が不安。
委員	・小規模校からの受け入れ制限は不公平。
委員	・特認校を導入しても、人数が増加する見込みがない。
委員	・城山学園の特色を改めて分析する必要がある。(地域の力を活用するなど)
委員	・城山小・中学校の児童生徒数が減少していく中で、地域に学校を残すことの重要性を考え、何か策を講じなければならない。
委員	・大家小学校と統合し、統合先が大家小学校となった場合、通学距離が長くなる。
委員	・小規模校として魅力ある学校づくりを推進することが重要である。
委員	・空き家を有効活用し、「子育てするなら城山で！」を掲げ、地域で子どもを育てる体制を整備した方が良い。
委員	・城山学園周辺の自然環境を活かし、特色にしてみたらどうか。
委員	・山村留学を取り入れてみてはどうか。
委員	・東松山市と状況が似ており、地域の大学が携わっているのではないか。
会長	本日の内容を整理し、次回、答申の方向性を決めることとしたい。
委員	異議なし
事務局	5 その他 次回の開催日等について説明（学校教育課）
事務局	6 閉会